

620 大學立法粉碎 統一行動に起

昨日(6)、20シテラ委員会が結成大会をもち、昨日(26)より工部部中庭において、6・20日法粉安市ナ統一行動委員会結成大会をもちこられた。この結成大会には、ST院附、ST助手会をはじめとして、M教員会、STの教養クラス、L二回生二回生有志をはじめ大勢的参加が実現した。

現時までに於いて、中央總司令部法化粉碎の巨大な隊列を我々全市民人に要請されてゐる中で、我々はこの斗争に対して、椎山五三千、奥二三千の大衆的決起を市民に呼びて再興すべく、戦時的に準備して闘ひ抜くのはさうない。

民衆の全共闘のセクト主義をのりこえて
大衆的なる隊列を實現しよう

二の六、二の七に對し、民衆リテ全國連立府會議トの議者は、6・14に爭つて
同くさうにホイコット候補という形であつてセクト的対応を示し、シムズ學友の
エネルギヤの相續をあげてゐる。

又、昨日結成大会に於いて、全共闘諸君より我々に対して「6、14斗争で教
官と連帯したのに、教員会連体のスローガンが入っていない6、20斗争にど参加
するの（おまじりではないか）」という批判が行われた。我々は、このバカバ
カ批判ならぬ批判に次のように答えてやるつもりはない。すなわち、我々は
、14斗争に於いてはその斗争の不充分（スローガンの不充
分さ、教員会連合のセクト的対応等）を批判しつつ、我々の
斗争の成果とこのある教員会のはじめの三三三と連帯とい
とのきわめて重要な意味（政府斗争とこの全大學生に及
ぶ大衆的な運動の形成）をささえて戦闘的に連帯したのであ
る。また、今日の6、20斗争の「教員会自治連体」のスロー
ガンは、国共協自主運動路線の學内における体現者としての
「教員会のみ自治」という悪い側面のみを意味してい
るのである。我々は、教員自らな主体的に市大の斗争にとり
組んでゆく中で、教員会のみ自治という悪い側面を克服、
克服してゆくことを要求するのである。

が二回議論会でも確認されてゐるうちに、6、20斗争全体
の方向性は明確に「全体」ではなくして「改革」の方向であ
る。全井「論議」、6、20斗争のセラをよく見給え。「我々の
この善悪野良は徹底的討論をやりて行く中で、大學の改
革を進める裏の立場をお互りに確認つゝ、行動するつもりです。
（白紙）そこに調ひ大なる野良犬の君達もシッポを振ってくるなん
て……っはり君達は大でこみない。自らの論理助、政治的破
綻を望むにすぎぬ」

各クラフ、サークルなどの大衆
的な参加をもつて、立憲粉砕の巨文を
隊列を形成せよ。▽

學長諸君、山縣總督閣下、臨時指導の學粉碎の大衆的運動を
なすとして、政治的上の遠慮を徹底的に粉碎する覺を持つた所の市人民衆の改革
を勝利させようといふのである。至てのクラフツ、
「ニニナツクル」の二、三、

$$\frac{6}{19}$$

金学改革斗争委